

学習指導案① 「日本の貿易の現状」

1 テーマ

日本の輸入と輸出について調べよう。

2 本学習指導案の活用場面

ここでは、5年小単元「工業生産を支える運輸と貿易」で、わが国の貿易の現状や特色について学習する際の指導例を示しています。

3 教材活用のポイント

ここでは、主に「日本の輸出品を調べよう」と「日本の輸入品を調べよう」の2つの画面を中心に使用します。地図上には、輸出入品、輸送手段、貿易相手国のアイコンがあり、それぞれをクリックすることで、それぞれに関する情報を収集でき、学習を深めることができます。資料からわかったことを添付されているワークシートに記入させながら進めていくと、学習事項を確認することができますから、つまづきをなくすことができます。

4 目標

日本から外国への主な輸出品や外国から日本への主な輸入品を調べるとともに、それぞれの輸送手段には、専用船やコンテナ船、航空機などが利用されていることを理解することができる。

5 学習展開(1時間扱い)

主な発問・指示 / 押さえない事項	資料(*)と配慮事項
<p>1 学習のめあて(今日の課題)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>日本からの外国への輸出品や外国から日本への輸入品はどのように運ばれているのだろうか。</p></div> <p>2 日本からの輸出品について調べましょう。</p> <p>(1) 日本が外国に輸出している主な商品(輸出品)は何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車、半導体電子部品、鉄鋼、自動車の部品 <p>(2) 輸出品はそれぞれ何を使って外国に運んでいるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車→自動車専用船・半導体電子部品→飛行機・鉄鋼→ばら積み船・自動車の部品→コンテナ船	<p>◎本時の冒頭で、外国との間で商品を輸出入することを「貿易」ということを指導する。</p> <p>*「日本の輸出品を調べよう」(地図)</p> <p>◎ここでは、画面上をクリックすると、輸送手段や主な輸出相手国がわかるようになっている。</p> <p>◎(2)と(3)の活動では、商品ごとに輸送手段や貿易相手国を調べることもできる。</p> <p>◎調べたことをワークシートに記述させていくと、理解が深まる。</p>

(3) 主な輸出品の相手国や地域はどこだろうか。

- ・自動車→アメリカ、オーストラリア、中国など
- ・半導体電子部品→中国、台湾、香港など
- ・鉄鋼→タイ、韓国、中国など
- ・自動車の部品→アメリカ、中国、タイなど

3 日本への輸入品について調べましょう。

(1) 日本が外国から輸入している主な商品(輸入品)は何だろうか。

- ・原油、液化天然ガス、石炭、衣類および付属品

(2) 輸入品は何で外国から運ばれているのだろうか。

- ・原油→原油タンカー
- ・液化天然ガス→LNG船
- ・石炭→ばら積み船
- ・衣類および付属品→コンテナ船

(3) 主な輸出品の相手国や地域はどこだろうか。

- ・原油→サウジアラビア、アラブ首長国連邦、クウェート
- ・液化天然ガス→オーストラリア、マレーシア、ロシア
- ・石炭→オーストラリア、インドネシア、カナダなど
- ・衣類及び付属品→中国、ベトナム、バングラデシュなど

4 日本の輸出と輸入について、これまで調べたことからわかったことをまとめましょう。

(まとめの文例)

日本は、自動車や電子部品などの工業製品を専用の船や飛行機で輸出し、原油や液化天然ガスなどのエネルギー資源を専用の船で輸入している。

*「日本の輸入品を調べよう」(地図)

◎学習展開上の配慮事項は、輸出品について調べる際と同じである。

◎輸入品の形態(積み込むもの)によって使用される船のつくりや名称が違っていることに気づかせたい。

◎ここでは、わが国の貿易の現状について輸出と輸入に分けて、調べた範囲でわかったことをまとめさせる。

◎原材料を輸入して、製品を輸出することを「加工貿易」ということを指導する。